

### 代表質問(要旨)

## 県西地域発展のための将来像と県の取り組みは 工業と農業の調和の取れた 地域として発展させる

飯塚秋男議員(自民)

下妻市にある砂沼サンビーチは、三十三年前に当時の竹内知事の英断により、一年足らずで完成し、海のない県西地域の発展を支えてきた。橋本知事は、県西地域の発展のためにどのような将来像を描き、どのように取り組むのか。

**知事** 県西地域活性化のためには、まず「本県の発展をけん引する新たな産業拠点」の形成を図るため、日野自動車を中心とした裾野の広い自動車産業の集積を進めるとともに、圏央道のインターチェンジ周辺の開発についても沿線市町村の取り組みを支援する。また、「日本の食を支える一大食料供給基地」と

して発展させるため、もうかる農業、夢のある農業の実現に努め、工業と農業の調和の取れた地域として発展させていきたい。

**議員** 本格的な復興にあたり、インフラについては、単に震災前の状態に戻すのではなく、本県の一層の発展を見据え、交通や物流の将来像を踏まえた整備を図るとともに、災害にも強い構造にするなど、広域交通ネットワークをはじめとするインフラの整備・強化を図るべきでは。

**知事** 本県の発展には、災害に強く、活力ある県土づくりが重要であり、陸・海・空の広域交通ネットワークの整備を一層推進していく。また、災害に対するインフラの強化も急務である。

県としては、これらの整備に、重点化、効率化を図りながら、スピード感をもって取り組む。

**議員** 自動車産業は、裾野が広く経済的な波及効果も高い。日野自動車の進出は、本県の企業にとっても、取引を拡大するチャンスであるが、県はどのように関係機関と連携し、既存の産業集積を活かして、自動車関連産業の集積を図るのか。

**知事** 県内企業が日野自動車との取引に参入できるよう、商談会などによる受注機会の確保や、技術指導、人材育成などを進める。さらに、国の企業立地補助金などを活用し、日野自動車関連企業などの誘致に取り組む。

**議員** 本県では、交通ネットワークの整備が進み、物流環境が改善されている。県では、どのような物流ネットワークの将来像を描き、どのように事業者などと連携して、物流の活性化を図るのか。



県西地域の発展とともにある砂沼サンビーチ

**知事** 昨年策定した「県総合物流計画」では、将来像として、東京圏に過度に依存しない効率的で環境にやさしい物流への再編を目指している。具体的には、茨城港と北関東道による東西物流の構築や、圏央道沿線地域への生産・物流機能の集積、空港や港湾などを活用した国際物流の展開などに重点的を置き、関係者と一体となって、本県物流の一層の活性化に取り組む。

**議員** スカイマークや春秋航空

## 第1回定例会の主な日程

平成24年第1回定例会県議会は、以下の会期日程で開催されました。

- 2月27日(月) **本 会 議**  
(開会、知事提出議案説明)
- 3月2日(金) **本 会 議**  
5日(月) (代表質問・質疑)
- 3月6日(火) **本 会 議**  
7日(水) (一般質問・質疑)  
8日(木)
- 3月9日(金) **常 任 委 員 会**  
12日(月)  
13日(火)
- 3月14日(水) **本 会 議**  
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 3月15日(木) **調 査 特 別 委 員 会**  
(東日本大震災復興・元気な  
いばらきづくり調査特別委員会)
- 3月16日(金) **予 算 特 別 委 員 会**  
19日(月)
- 3月22日(木) **本 会 議**  
(委員長報告、採決、閉会)

### ●質問者

- 飯塚 秋男 (いばらき自民党)
- 長谷川 修平 (民 主 党)
- 半村 登 (自民県政クラブ)
- 井手 義弘 (公 明 党)

### 常任委員会に付託された 請願の審査結果

- 防災環境商工委員会
  - 公共施設等への災害対策用LPガス設備等の導入に関する請願
  - 東海第二原発の再稼働中止・廃炉を求める請願
  - 保健福祉委員会
  - 常陸太田市里美地区大中町内における「生活困難者のために無料または低額な料金で宿泊所等を提供する事業」施設の開設の反対に関する請願
  - 県民の安全で安心な社会環境をつくるために蔓延する刺青(入れ墨)・アートメイク等を含む感染被害を未然に防ぐ為衛生基準を設ける条例制定を求める請願
  - 茨城子ども健康調査を求める請願
- 採：採択 / 不：不採択 / 継：継続審査

### 分割質問方式がスタートしました

議会改革の一環で、今定例会から、本会議の代表質問・質疑及び一般質問・質疑において、これまでの一括質問方式に加え、新たに分割質問方式が選択できるようになりました。

一括質問方式では、議員が質問を一括して行い答弁が行われますが、分割質問方式では、質問を分けて行い答弁が行われます。つまり、質問の内容をより理解しやすくなります。

**【分割質問方式とは?】**  
質問事項を大項目ごとに分割して質問し、答弁を受ける方式で、再質問は、その都度二回までできることとしました。

**【何人が選択したの?】**  
今定例会では、代表質問・質疑では二名、一般質問・質疑では四名が選択しました。



質問者席で再質問を行う  
長谷川修平議員

の増便により、来県する旅行者の増加が見込まれるが、茨城空港を利用した観光客を県内へ誘導するためにどのような対策を講ずるのか。

**知事** 旅行者の多岐にわたる観光ニーズに対応するため、様々なメニューを提供する。国内の客には、無料バスを提供するほか、教育旅行や体験型旅行など多様な商品造成を働きかける。外国人観光客には、県内の観光地と県外の魅力ある観光地を組み合わせ新たなモデルコースの開発など広域観光を推進する。(ほかにも、行財政改革の推進、風評被害対策、森林湖沼環境税の延長の見直しなども質問)